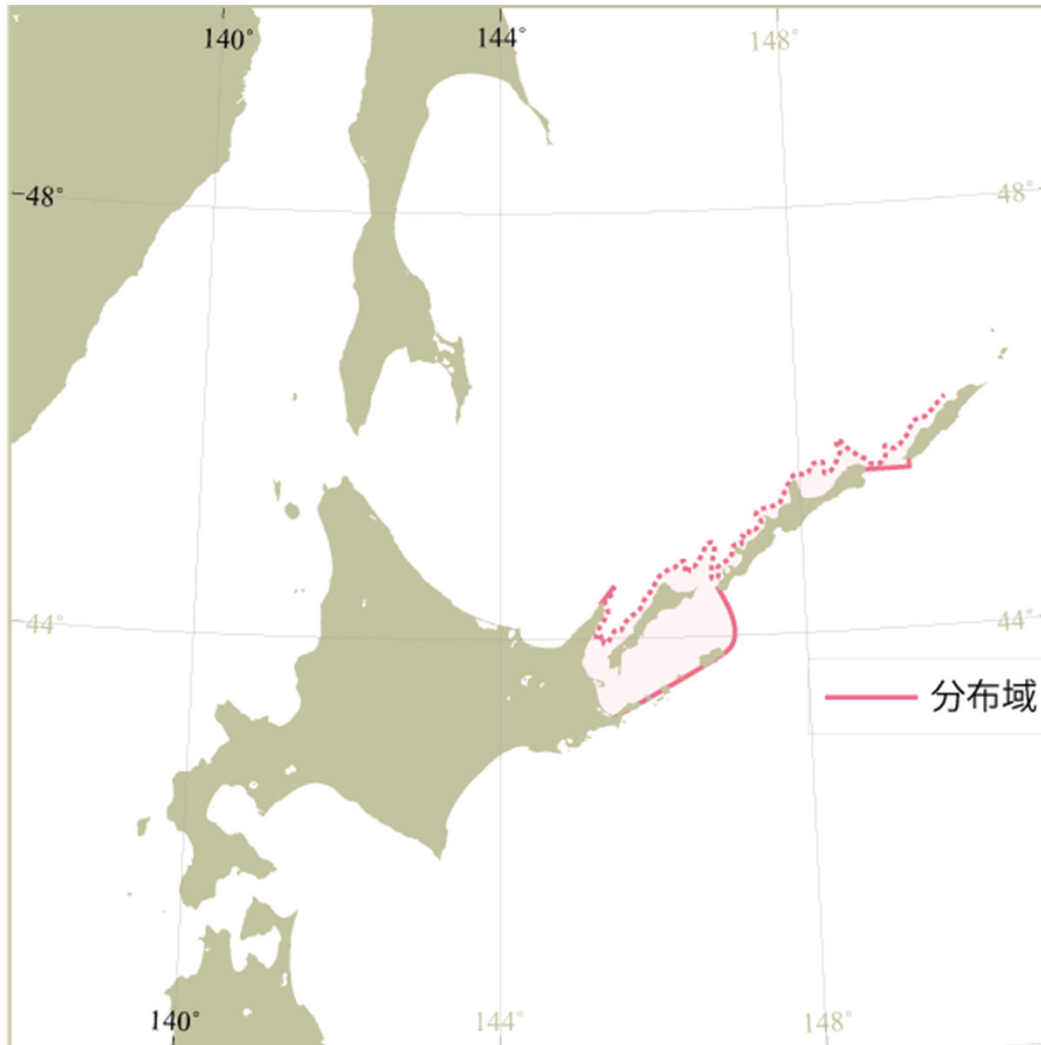




マダラ根室海峡 令和6年度資源評価結果

生物学の特性

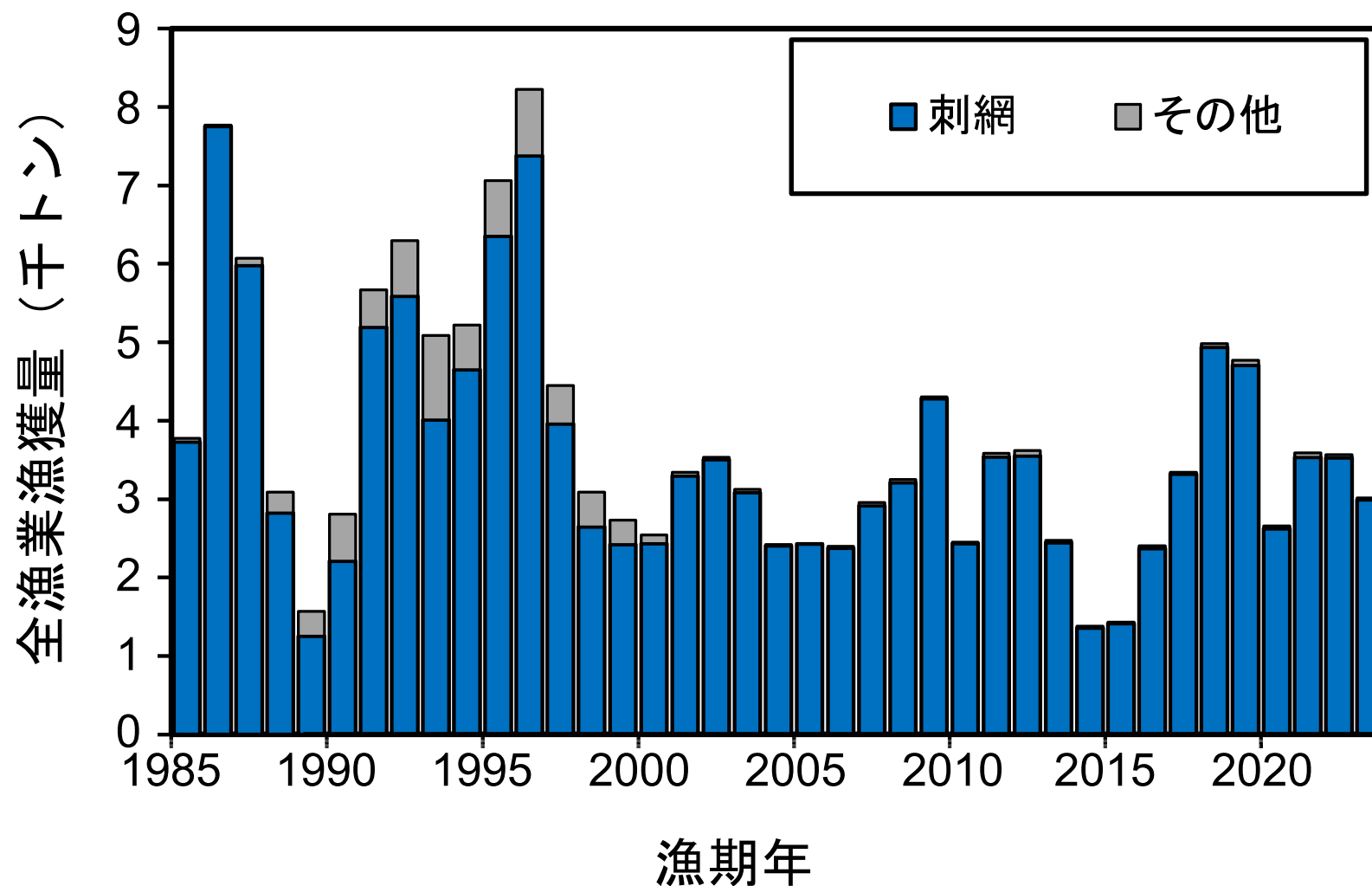


生物学の特性

- 寿命：不明
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：不明
産卵場は沿岸域に散在していると考えられる
- 食性：幼魚期は主にカイアシ類、底生生活移行後は、主に魚類、甲殻類、頭足類、貝類
- 捕食者：海獣類

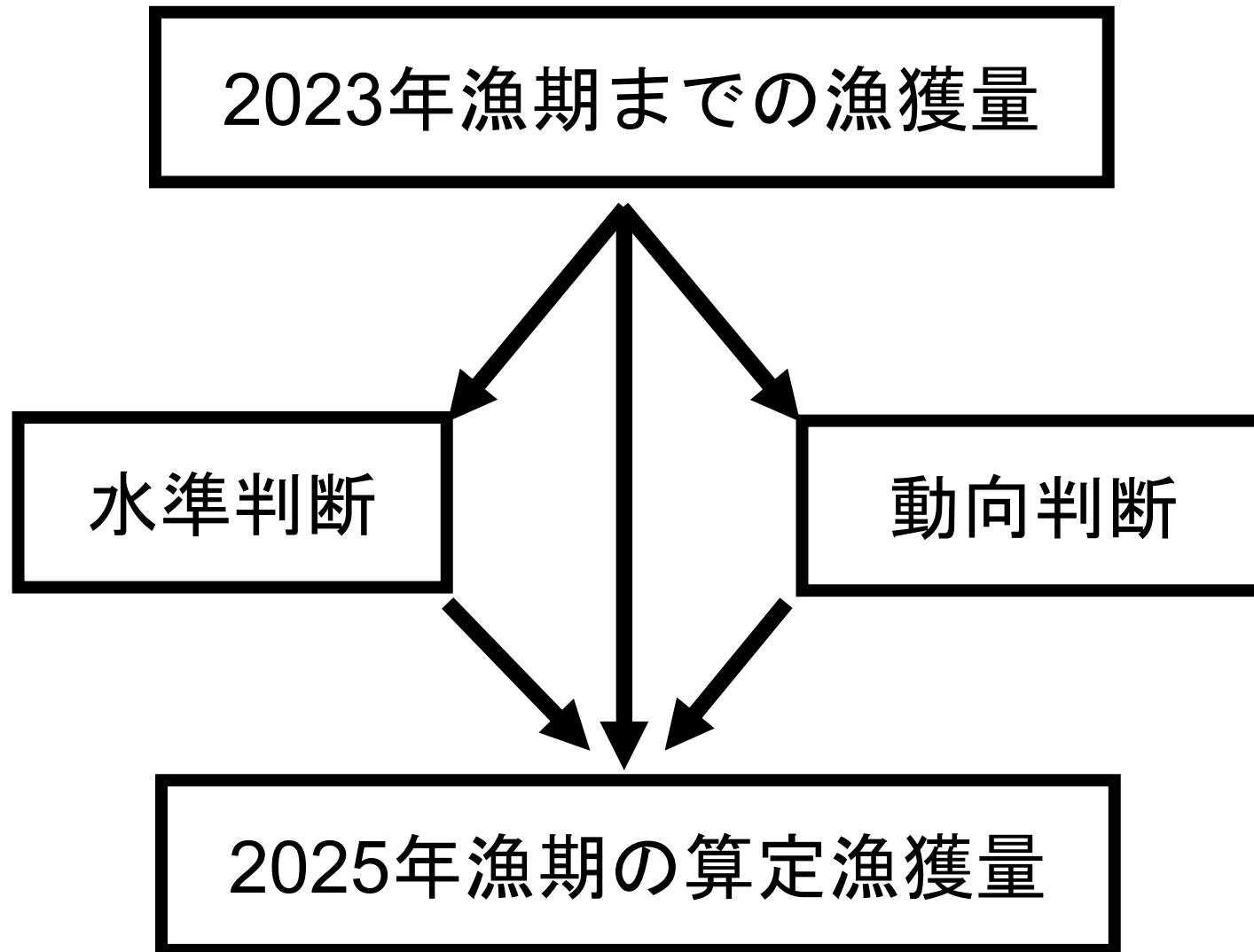
- ほぼ周年漁獲されるが、冬季～春季に漁獲量が多い

漁獲の動向



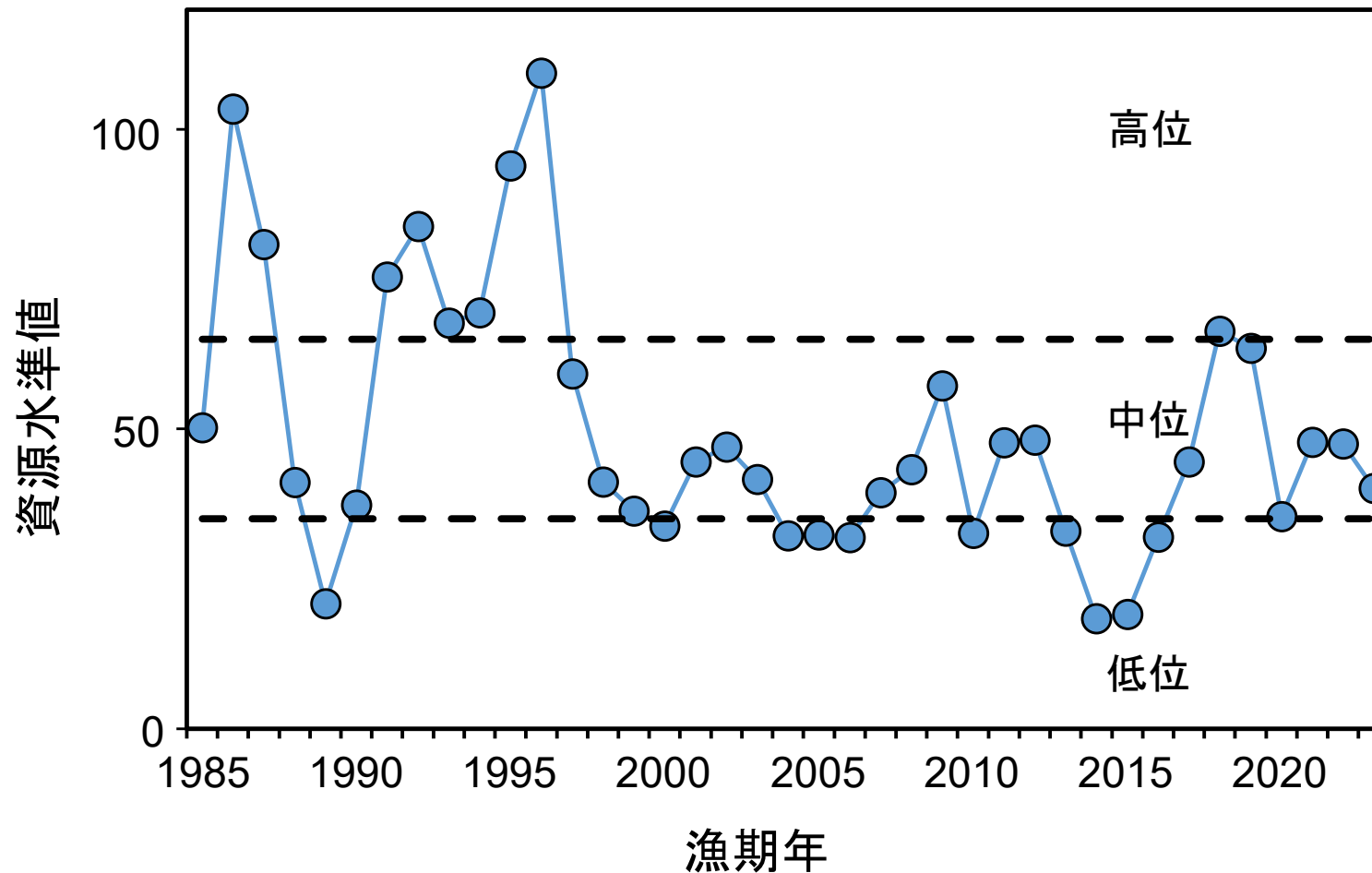
- 2023年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量：3,013トン（2022年漁期：3,568トン）
- 沿岸漁業により漁獲され、特に刺網の漁獲が多い

資源評価の流れ



※ 算定漁獲量は漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

資源の動向



※水準区 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65
(1985年漁期以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量を指標値（資源水準値）
化して水準判断)

- 資源水準：2023年漁期の資源水準値は40.1であり「中位」
- 資源動向：直近5年間（2019～2023年漁期）の漁獲量の推移から「減少」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「中位」、動向は「減少」
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2025年漁期の算定漁獲量

管理基準	Target/ Limit	2025年漁期算定漁獲量 (千トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.9・Cave3-yr・0.96	Target	2.3	—	—
	Limit	2.9	—	—

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則2-2) により、
 $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- δ_2 : 0.9 (Caveを使用し、かつ低位水準の幅が狭くなる水準定義を使っているとともに、資源水準が中位である場合の推奨値)
- Ct : Cave3-yr (直近3年間 (2021~2023年漁期) の平均漁獲量)
- γ_2 : 0.96 (直近3年の漁獲量の傾きと平均値から求まる係数)